認定ＮＰＯ法人アジア車いす交流センター（ワフカ）
WHEELCHAIRS AND FRIENDSHIP CENTER OF ASIA

みんなで支える、一人ひとりの毎日。

障がい児教育支援基金

Education Support Project for Children with Disabilities (ESPCD)

2021 年度

Wish List

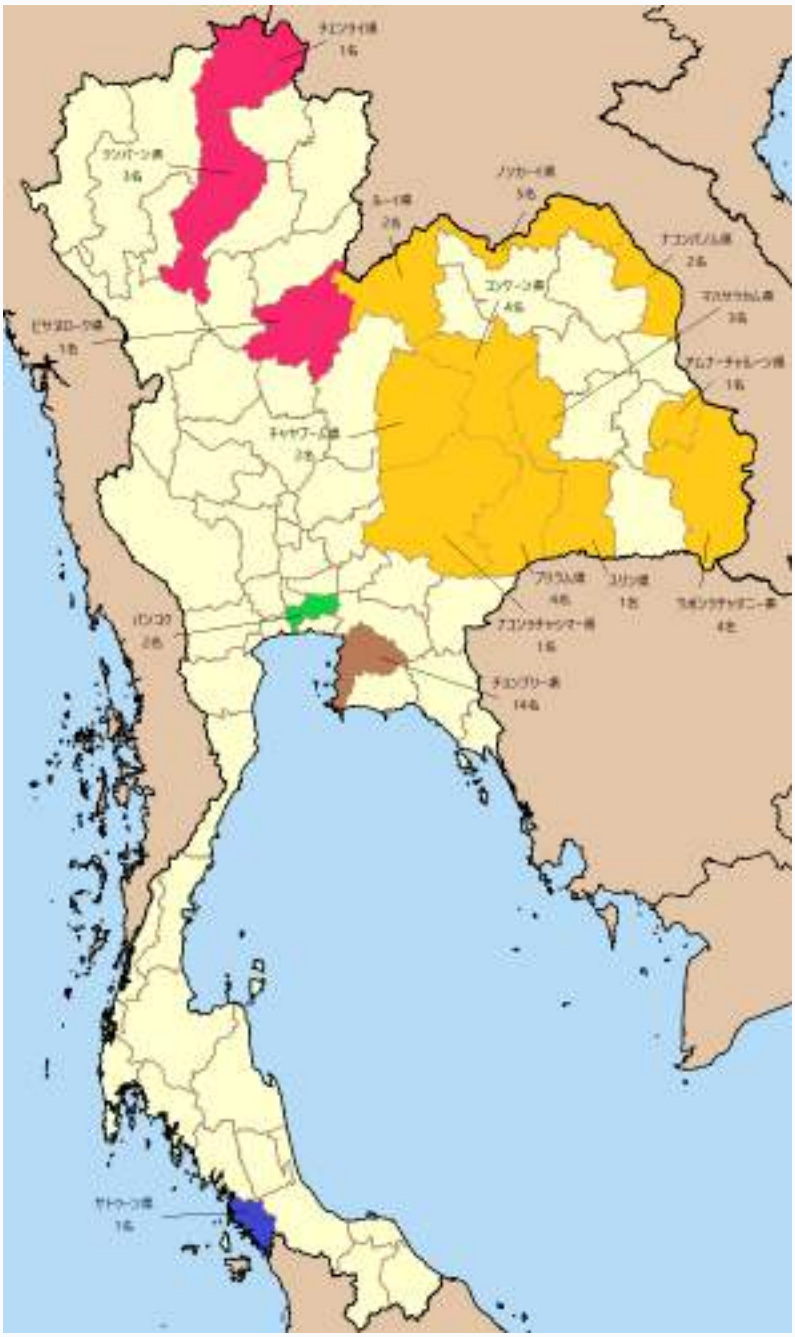
子どもたちのお願いリスト

THAILAND

WAFCA は「障がいのある子どもたち、一人ひとりに寄り添う」をテーマに、
現地パートナー団体である WAFCAT（タイ）、WAFCAI（インドネシア）を通じ、
本人、保護者、学校の先生、地域の人たちとともに
障がい児教育支援事業を実施しています。様々な異なる困難を抱えている子どもたちが
安心して学校へ通い、友達と一緒に勉強できるよう、ご支援をお願いします！

支援国	支援人数	目標総額
タイ	52 名	**896,000 円**

タイ



タイには中部、西部、北部、東北部、南部で合わせて 77 の県があります。しかし、タイの公立の特別支援学校は 48 校しかありません。
（知的障がい 19 校、聴覚障がい 21 校、身体障がい 6 校、視覚障がい 2 校）

通常の学校の場合、自宅から学校までの道のり、移動手段、校内のバリアフリーの面などで課題が多く残されています。

タイ教育省の「ノンフォーマル教育」という中学・高校課程を自宅で学習する制度を利用している奨学生もいますが、自宅では教材に制限があり、友達にも毎日会えないなどの課題はあります。

課題は様々ですが、WAFCA のタイ障がい児教育支援事業で共通の目標として掲げているのは、**「障がいインクルーシブ教育のモデル作り」**です。WAFCA の奨学生がモデルとなって、他の車いすの子どもたちが当たり前のように安心して学校へ通い、高校、専門学校、大学進学、その先の就職を目指せる社会の実現を目指し、2021 年度は 51 名の奨学生を選考しました。選考された奨学生は学業を修了するまで継続して支援していきます。

タイの奨学生の選考基準（優先順・例外あり）

❶通常の学校、または、特別支援学校で質の高い教育を受けることができる。

❷生活や通学などの日常で車いすや移動補助具を使っている。

❸教育に対し本人や家族が前向きに取り組んでいる。

❹経済的に困難な状況に置かれている。

表記の仕方

ニックネーム（年齢）　フルネーム　学年

生年月日：
学校：
支援内容

子どもたちのストーリー

写真

東北部

イサーン地方とも呼ばれ、5 つのなかで最も広大な地域です。平均標高約 200 メートルの緩い起伏が続くコラート高原がほぼ全域に広がっており、ナコーンラチャシーマーやウボンラチャターニーなどの「南イサーン」と、メコン川を挟んで隣国のラオスと国境を接するウドーンターニーやナコーンパノムなどの別名「北イサーン」という 2 つのエリアからなります。古代の農耕文明や、その後のクメール王朝時代の遺跡が各地で発見されるなど奥深い歴史性と、ラオスやカンボジアからの影響を受けつけつつ育まれてきた独自の伝統文化が魅力的です。また人々のあたたかなホスピタリティもよく知られています。

©タイ国政府観光庁日本事務所

ドリーム(22)

ワニサー・ジッパンヤー　大学 3 年生

生年月日：1999/3/23
学校：ウボンラチャタニー県ラチャパット大学
支援内容：生活費（家賃等）/キャンプ参加予定（¥105,000）

ドリームさんは東北部ナコンパノム県出身で、両親、お兄さん、妹の 5 人家族です。生まれつき障がいがあります。優秀な成績で 3 年生に進級しました。4 年生後期にインターンシップがあります。コロナのため空港での勤務をあきらめ、今は公務員を目指して勉強しています。大学の学費は免除されていますが、大学の近くに借りているアパートの家賃など生活費が必要です。

エー(22)

スティポーン・パコットム　大学 2 年生

生年月日：1998/9/28
学校：マハサラカム県ラチャパット大学
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

エー君は東北部ロイエット県の出身で、生まれつき障がいがあります。小学校を卒業後はノンフォーマル教育（自宅学習）で 8 年かけて中学、高校を卒業しました。大学では政治・行政学部で行政学（地域行政管理）を専攻しています。特別なカリキュラムで 3 年生の後期から卒業までの 1 年半インターンシップがあります。故郷ロイエット県の市役所か区役所でインターンを希望しています。卒業後は公務員試験を受け、そのまま勤務することを目指しています。

メイ(16)

ウマポーン・コラプン　小学 4 年生

生年月日：2004/12/12
学校：コンケーン県シーサンワン・コンケーン特別支援学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

メイさんはサコンナコーン県の出身です。サコンナコーン県特殊教育センターが学校へ通えず自宅に留まっていた 9 歳のメイさんを見つけ、3 年間センターで基礎訓練を受けた後、現在の特別支援学校の 1 年生に 12 歳で入学しました。現在 16 歳で、小学 4 年生です。将来、国語の先生になることを夢見て、一歩ずつがんばっています。帰省のための交通費を奨学金として支援します。

メオ(20)

ラタタマヌーン・カサムラム　大学２年生

生年月日：2000/11/12
学校：ブリラム県ラチャパット大学
支援内容：アパート家賃の一部/キャンプ参加予定（¥42,000）

メオ君（ニックネーム（オー）から改名）は生まれつき右足に障がいがあり、切断手術をして義足を付けています。教育学部で幼児教育を専攻しています。将来は保育園の先生を目指しています。大学の学費は免除されていますが、40 キロ離れた自宅からの通学が不便だったため、より勉強に集中するために大学の近くにアパートを借りました。家賃の一部を支援予定です。

プラー(17)

ナンタカー・フームフック　高校３年生

生年月日：2003/10/25
学校：スリン県ヴィラワット・ヨーティン学校
支援内容：大学入試（GAT、PAT）の家庭教師代/キャンプ参加予定（¥22,750）

プラーさんは東北部スリン県の出身で、生まれつき右足がありません。両親は離婚し、おばあさん、おばあさんの妹に育てられました。
通常の高校に通い大学進学を目指しているプラーさん。高校 2 年の成績が GPA2.63 と振るわなかったため、3 年生では小さい頃からの目標である薬学部の入試に向けて、より一層勉強を頑張らなければなりません。奨学金で大学入試（GAT、PAT）の個別指導塾の学費 1 コース分を支援予定です。

トゥムタム(24)

アナン・パンバーン　大学１年生

生年月日：1997/9/14
学校：マハサラカム県ラチャパット大学
支援内容：交通費（休暇帰省のため）　/キャンプ参加予定（¥14,000）

トゥムタム君は両親と弟の 4 人家族です。生まれつき骨が脆く、何度も骨折して手術を繰り返しましたが、現在は車いすスポーツにも取り組むほど丈夫に成長しました。
特別支援学校高等部を卒業し、大学に進学しました。専攻は政治・行政学部で行政学（地域行政管理）です。Work Integrated Learning(WIL)プログラムで、1 年半のインターンシップもあります。新しい障がい者スポーツの Club Throw（こんぼう投げ） のタイ代表メンバーとしても活動しています。

マイファー(17)　モンティチャー・マクムレック　専門学校２年生

生年月日：2004/6/5
学校：ブリラム県サトゥー産業地域教育カレッジ
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥19,600）

マイファ―さんは幼い頃に交通事故で両脚を切断し、義足で生活しています。お父さんが体調を崩し、働けないため、作ったお米を売って生活していますが、生活は不安定です。そのため、マイファ―さんは中学を卒業後、公立の職業教育学校へ進学し、就職を目指しています。学校へ通う交通費を奨学金として支援します。

ジョー(17)　クリッサナポーン・アートシラー　中学３年生

生年月日：1999/3/23
学校：ルーイ県バーン・ドンノイ学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥8,400）

ジョー君は生まれつき左脚に障がいがあり、松葉杖で生活しています。大人になったら脚を切断して義足を使いたいと思っています。タイ王室の支援で自宅を建てた時、WAFCA の追加支援でバリアフリートイレを設置したこともあります。ジョー君は絵を描くことが好きで、全国大会で金賞を受賞するほどの才能があります。通学するための交通費を奨学金として支援します。

ジョータン(15)　ティナポップ・ソマウォン　専門学校１年生

生年月日：2005/8/9
学校：ノンカーイ県レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/介助者の人件費/キャンプ参加予定（¥35,000）

ジョータン君はブリラム県出身です。特別支援学級の先生による送り迎えや個別授業のおかげで無事に中学を卒業し、障がい者のための専門学校に入学しました。初めて家族と離れて寮生活です。ジョータン君は車いすの乗り降りやトイレに介助者が必要ですが、学校では介助者を雇っていません。そこで学校は比較的障がいの軽い学生でチームを作り、ジョータン君をサポートすることにしました。そのための人件費と、学期休みに帰省するための交通費を支援する予定です。

マン(10)　ラーメーン・チュンチャート　小学５年生

生年月日：2011/3/26
学校：ブリラム県バーン・コクマイデーン・フアクラサン小学校
支援内容：学校で使うお小遣い/キャンプ参加予定（¥2,000）

生年月日：2006/10/16
学校：ブリラム県バーン・コクマイデーン・フアクラサン小学校
支援内容：学校で使うお小遣い/キャンプ参加予定（¥2,000）

シット(14)　ピシックン・チュンチャート　中学２年生

マン君とシット君の兄弟は、生まれつき障がいがあり、歩行が困難です。両親も障がい者で、現在は離婚、お母さんが健常児の三男を含めて３人の子どもを育てています。家族の収入は３人分の障がい者福祉手当（月 800 バーツ、約 2,800 円/人）です。タイでは学校でおやつを買うためにお小遣い（70 円程度/日）を持っていく習慣がありますが、お母さんは息子たちにおやつ代を持たせることができないと悩んでいます。そこで、奨学金から 2 人にそれぞれ 70 円/日のお小遣いを支援します。

ケン(15)　サモーン・ラントンラーン　専門学校１年生

生年月日：2005/11/17
学校：ノンカーイ県レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

ケン君は生まれつき右足がないという障がいがありますが、松葉杖や自転車をうまく使いこなして動き回る元気な男の子です。ブリラム県の通常の中学校を卒業し、今年、障がい者のための専門学校に入学しました。学期休みに帰省するための交通費を支援する予定です。

ファースト(17)

ジンタパパー・サイヤー　大学１年生

生年月日：2003/8/29
学校：マハサラカム県ラチャパット大学
支援内容：介助者の人件費/キャンプ参加予定（¥21,000）

ファーストさんは優秀な成績で中学を卒業しましたが、重い障がいのため進学先が見つからず、ノンフォーマル教育（通信）で高校課程を勉強しました。昨年度、前期に高校 2 年生、後期に高校 3 年生の科目を履修し、試験もパスして高校課程を修了しました。そして、WAFCAT の勧めでスティポーン君(p.3)と同じ大学を受験し合格しました。政治・行政学部で行政学（地域行政管理）の Work Integrated Learning(WIL)プログラム専攻です。ファーストさんの生活は常に介助者のサポートが必要で、寮のルームメイト（介助者）の人件費を奨学金として支援する予定です。

パイ(17)

ポーンウィパー・プアンパイワン　専門学校１年生

生年月日：2004/3/12
学校：ノンカーイ県レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/車いす/キャンプ参加予定（¥31,500）

ルーイ県出身のパイさんは両親のサポートで地元の中学を卒業しました。筋ジストロフィーの症状が進んでいて進学には消極的でしたが、進路相談の結果、障がい者のための環境が整っている専門学校に入学しました。学期休みに帰省するための交通費と、2016 年に WAFCAT から提供した子ども用の車いすが身体のサイズに合わなくなったため、学校や寮で使うための自走タイプの車いすを提供する予定です。

フィルム(15)

チャイピパット・チャムナムクン　中学２年生

生年月日：2006/4/14
学校：チャヤプーム県クッドナムサイ・ピッタヤコム学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥11,200）

フィルム君は、生まれつき両腕両脚に障がいがあり、生活介助が必要です。昨年フィルム君が入学した中学校にバリアフリートイレを建設し、一人で乗り降りできるよう改造した車いすを支援し、通学を継続できるようになりました。学校まではお祖父さんがバイクで送り迎えし、学校ではクラスメートや先生が面倒を見てくれます。お祖父さんのバイクのガソリン代を奨学金として支援します。

ピーチ(13)　パタナチャイ・シーカムウィエン　小学 6 年生

生年月日:2007/9/5
学校:コンケーン県シーサンワン・コンケーン特別支援学校
支援内容:交通費(休暇帰省のため)/キャンプ参加予定(¥14,000)

ピーチ君はロイエット県の出身です。6 歳の時に地元の小学校に入学しましたが、障がいが理由で通学を継続することができませんでした。そこで親元を離れて特別支援学校に入学し直しました。どんどん成績も上がり、中学・高校への進学を目指して勉強を頑張っています。将来は車いすレースでパラリンピック選手になる夢があります。帰省のための交通費を奨学金として支援します。

エー(6)　ウォンサパット・ロイシン　小学 2 年生

生年月日:2015/4/5
学校:コンケーン県バーン・ソックナーディー学校
支援内容:通学交通費/キャンプ参加予定(¥11,200)

2019 年に WAFCAT から車いすをもらい、特殊教育センターで車いすの使い方も含めてリハビリ訓練を受けました。2020 年に一般の小学校の 1 年生に入学し、2021 年に学校から奨学金の申請がありました。まだ一度も WAFCAT のスタッフが学校を訪れたことがありませんが、オンラインで、学校の状況やエー君に必要な支援について調査しました。

ユイ(12)　ラチャニチャイ・スアントー　小学 6 年生

生年月日:2009/6/16
学校:チャヤプーム県バーン・ワーンアイジー学校
支援内容:通学交通費/キャンプ参加予定(¥8,400)

ユイさんは生まれつき右脚がなく、左脚は変形しています。もともと活発なユイさんは、WAFCA から手こぎ三輪車をもらってから行動範囲が広がり、自立した生活を送っています。昨年度、学校にバリアフリートイレや通路の舗装整備を行い、学校行事にも高学年生のリーダーとして積極的に参加しています。通学のための交通費を奨学金として支援します。

ネイ(19)　オラパン・ポントーン　中学２年生

生年月日：2002/3/5
学校：ウボンラチャタニー県プッターメーター・ウィッタヤー学校
支援内容：キャンプ参加予定

生年月日：2000/8/29
学校：ウボンラチャタニー県プッターメーター・ウィッタヤー学校
支援内容：キャンプ参加予定

マイ(20)　オラワン・ポントーン　中学２年生

ネイさんとマイさんは 2 歳違いの姉妹です。2 人とも生まれつき脚に障がいがあり、歩行が困難です。家庭環境が複雑で、頻繁な引っ越しに伴い、学校の入退学を繰り返しています。現在、在籍している学校は仏教系の財団が運営している学校で在校生への支援が充実しているため、WAFCA から直接的な奨学金支援は予定していません。しかし、引き続き、今後の姉妹の進路に関してサポートできる体制は続けていきます。

オイ(19)　ウィチュダー・ピラー　専門学校２年生

生年月日：2001/12/12
学校：ノンカーイ県レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

オイさんは生まれつき下肢に障がいがあります。膝が伸ばせないので、胡坐の姿勢で車いすを利用しています。
東北部シーサケット県の中学校を優秀な成績で卒業しましたが、進学先が見つからず 1 年間自宅学習で進学先を探していました。そして昨年、WAFCAT のサポートで専門学校に入学しました。初めて親元を離れての寮生活と職業教育に慣れるのに苦労しましたが、努力してすべての単位取得と試験に合格し、2 年生に進級しました。車いすの乗り降り自主訓練も続けています。学期休みに帰省するための交通費を支援します。

チャート(17)　アピチャート・ソンクラム　高校１年生

生年月日：2000/11/12
学校：ウボンラチャタニー県ノンフォーマル教育学校
支援内容：交通費（試験のため）/キャンプ参加予定（¥7,000）

チャート君は中学を卒業後、ノンカーイ県の専門学校にお試し入学しましたが、寮生活に馴染めず断念。今年、ノンフォーマル教育（通信）で高校の勉強にチャレンジすることにしました。前後期に 1 回ずつ試験と研修のためにセンターへ登校するための交通費を奨学金として支援します。

プーカオ(13)　ジラサック・シーダーハオ　中学１年生

生年月日：2007/9/12
学校：ルーイ県プール―区ノンフォーマル教育学校
支援内容：交通費（試験のため）/キャンプ参加予定（¥7,000）

プーカオ君は生まれつき両腕両脚に障がいがあり、日常生活において介助が必要です。お祖父さんが仕事を辞めて通学に付き添うことで、昨年小学校を卒業することができましたが、進学できる中学校は見つかりませんでした。1 年間のブランクを経て、今年ノンフォーマル教育学校（通信）の中学課程に登録し、勉強に再チャレンジすることになりました。前後期に 1 回ずつ試験と研修のためにセンターへ登校するための交通費を奨学金として支援します。

サック(18)　ジャトゥロン・カムヤイ　高校１年生

生年月日：2003/4/21
学校：ナコンパノム県ソンティラット・ウィッタヤー学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥14,000）

サック君はノンカーイ県の専門学校に入学して寮生活を送っていましたが、体調を崩したり、学校に介助者がいなかったため、学校生活を続けることができませんでした。そこで、ナコンパノム県の自宅から 3 キロ離れた高校へ願書を出し、6 月から通学する予定です。お母さんがサイドカー付きバイクでサック君の送り迎えするためのガソリン代を奨学金として支援します。

オン(19)　パニター・セーントーン　専門学校１年生

生年月日:2002/1/21
学校:ノンカーイ県・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容:交通費(休暇帰省のため)/キャンプ参加予定(¥14,000)

オンさんはアムナーチャルーン県の出身で、一昨年、WAFCAT の支援で専門学校に入学しましたが、中学卒業レベルの学力が足りなかったため、専門学校で寮生活を続けながらノンフォーマル教育学校(通信)で中学課程を勉強していました。2 年間で中学課程を修了し、今年無事に専門課程に進学しました。学期休みにアムナーチャルーン県の実家に帰省するための交通費を支援します。

パーティー(9)　クンピパット・クーハナー　小学３年生

生年月日:2011/12/28
学校:アムナーチャルーン県ソムサアートヌクン学校
支援内容:通学交通費/キャンプ参加予定(¥11,200)

パーティー君は WAFCA の奨学金支援で小学校に入学してから 3 年目に突入しました。この間、学校にバリアフリートイレを設置して、パーティー君の学校生活を見守ってきました。通学には、引き続きお祖母さんが付き添い、送り迎えや昼食の介助をして支えています。クラスメートと遊ぶことが何より楽しく、結果として歩行器で短い距離を歩けるようになるなど、身体面でも成長しています。通学のための交通費を奨学金として支援します。

プロイ(19)　プロイパリン・ロッケウ　高校１年生

生年月日:2002/5/10
学校:コンケーン県シーサンワーンコンケーン特別支援学校
支援内容:交通費(休暇帰省のため)/キャンプ参加予定(¥14,000)

プロイさんは東北部サコンナコーン県の出身です。サコンナコーン県特殊教育センターで基礎訓練を受けたあと、9 歳で特別支援学校の 1 年生に入学しました。昨年、中等部を卒業し、進路に悩んだ結果、そのまま高等部に進学することにしました。高校を卒業したら、専門学校でコンピュータのスキルを身につけて就職したいと思っています。学期休みに帰省するための交通費を支援します。

ベンツ(10)　サオワパット・サオワパン　幼稚園１年生

生年月日:2011/4/3
学校:ナコンラチャシマー県バーン・ドンタッルー学校
支援内容:通学交通費/キャンプ参加予定(¥11,200)

ベンツ君は、脳性まひのため、障がいがあります。2019 年に WAFCAT から車いすと歩行器をもらい、1 年間、特殊教育センターの先生が家庭訪問してリハビリを行いました。その間も就学の可能性を探っていましたが、近所の小学校の附属幼稚園に入学が決まりました。7 月に WAFCAT のスタッフがベンツ君の学校を訪問し、現状を調査する予定でしたが、コロナのためオンラインで聞き取り調査を行いました。通学のための交通費を奨学金として支援します。その他にもニーズが見つかれば支援を検討します。

クラタイ(16)　シリヤコーン・メーチャイ　小学４年生

生年月日:2004/12/20
学校:ナコンパノム県ノンフォーマル教育学校
支援内容:学習用タブレット/キャンプ参加予定(¥19,950)

クラタイさんは、小学 1 年から 4 年生まで WAFCA の奨学生でしたが、5 年生では奨学金の申請がなく音信不通になっていました。2020 年ナコンパノム県特殊教育センターを通じて車いすの申請があり、クラタイさんと再会しました。小学校は卒業しないまま退学、すでに 16 歳のため小学校に戻るもの厳しいため、ノンフォーマル教育学校(通信)に登録して小学校課程(1 年)、中学校課程(1.5 年)の修了を目指すことになりました。中学の卒業証明があれば、専門学校へ入学する資格が得られるため、長期に亘って支援が必要です。

中部

農作物の栽培に適した肥沃な大平原が広がる中央部。国内でもっとも発展を遂げているエリアで、北部から流れ、タイ湾へと注ぐチャオプラヤー川の下流域には、バンコク王朝やアユタヤ王朝による都が置かれるなど、常に政治・経済・文化の中心を担ってきました。またパトゥムターニーやスパンブリー、ラーチャブリーといった周辺地域は稲作地帯となっており、美しい緑の田園風景が続きます。一方、タイ湾に面した沿岸部では、ホアヒンやチャアムといった街が王室のリゾート地として有名です。

©タイ国政府観光庁日本事務所

ボール(16)

ナロンデック・カラトーン　中学１年生

生年月日:2005/1/27
学校:ノンタブリー県シーサンワン特別支援学校
支援内容:交通費(休暇帰省のため)/キャンプ参加予定(¥14,700)

ボール君はバンコク最大のスラムであるクロントーイ地区出身で、お祖母さんと 2 人家族です。現在は特別支援学校の寮で生活しています。9 歳で小学校に入学してから順調に進級し、今年中等部に進学しました。月に 1 回、お祖母さんがバスやタクシーで迎えに来てくれて、自宅でリラックスして過ごすことを楽しみにしています。自宅と学校の往復交通費を奨学金として支援します。

オーム(21)

アナンタチャイ・シーサアート　大学 4 年生

生年月日:1999/11/5
学校:バンコク都ノース・バンコク大学
支援内容:アパート家賃/キャンプ参加予定(¥84,000)

オーム君は中部カンチャナブリー県出身で、現在はバンコクの大学で情報科学技術を学んでいます。大学 4 年生になり、卒業後の就職を目指しています。引き続き大学近くのアパート家賃を奨学金として支援します。さらに、2021 年 11 月～22 年 10 月の 1 年間、デンソー(タイランド)でインターンシップできるよう WAFCAT からデンソーへ申し入れています。

コラム

奨学生のフォローアップミーティング@オンライン

WAFCA が奨学金を支援している障がい児を対象に、タイ現地スタッフがフォローアップとして個人面談をしています。
コロナの感染が拡大している状況のため、今年はオンラインで学習の状況や卒業後の進路について聞き取りをしています。

東部

美しく穏やかなタイ湾と緑豊かな自然に抱かれた東部。バンコクからほど近いタイの代表的なリゾート地・パタヤをはじめ、沖合には手つかずの自然を有するチャーン島やグード島、サメット島などが浮かびます。一方、バンタッド山脈を国境にカンボジアと接しているチャンタブリーは森林資源に恵まれ、ドリアンやマンゴスチン、ランブータンなど南国ならではのトロピカルフルーツの産地。またルビーやサファイアなどの宝石類の採掘でも有名です。

©タイ国政府観光庁日本事務所

ノイ(19)　バンティター・ウォンフーン　専門学校 3 年生(留年)

生年月日:2002/5/8
学校:チョンブリー県パタヤレデンプトリスト高等専門学校
支援内容:進学支援/キャンプ参加予定

ノイさんは東北部ブリラム県の出身で、両親、2 人のお兄さんの 5 人家族です。生まれつき障がいがあります。地元の中学を卒業し、現在は高等専門学校で寮生活を送りながら学んでいます。故郷ブリラム県の専門学校から現在の学校に編入しましたが、単位が少し足りなかったため、今年度は 3 年生に留年しました。現在ブリラム県の自宅に戻り、自宅学習とオンライン授業で勉強しているため、今年度の奨学金支援は行わず、卒業後の進路相談、進学支援などフォローを継続します。

ウ(21)　ウィナダー・チャルーンシリ　専門学校 6 年生

生年月日:1999/11/14
学校:チョンブリー県パタヤ・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容:交通費(休暇帰省のため)/キャンプ参加予定(¥14,000)

ウィナダーさんは、WAFCAT 事務所でのインターンシップを経て職業教育課程を修了しました。その後、同じ学校の上級職業教育課程へ進学し、あと 2 年間デジタル・コンピュータを勉強することにしました。上級ディプロマ修了後は就職を目指しています。

インターンシップ
お疲れ様でした！

バス(16)　シラシット・ムアンジャン　専門学校 2 年生

生年月日：2004/9/25
学校：チョンブリー県パタヤ・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

バス君はシーサケット県出身で、地元の小学校を卒業後に東北部コンケーン県特別支援学校の中等部に進学しました。特別支援学校には高等部もありましたが、就職を見据えてコンピュータを専門的に学びたいと、昨年パタヤの専門学校へ入学。すべての単位取得と試験に合格して 2 年生に進級しました。WAFCA から贈ったスポーツタイプの車いすでボッチャ選手としても活躍しています。学期休みにシーサケット県の実家に帰省するための交通費を支援します。

ジーハン(10)　インティラ・ブッナムペット　小学 4 年生

生年月日：2011/6/5
学校：チョンブリー県特別支援学校（チャリヤオ・パワナー記念学校）
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

ジーハンさんは中部チャチュンサオ県の出身で、お祖母さんと弟と暮らしていました。小学 1 年生から家族と離れて学校で寄宿生活を送っています。先生やクラスメートは家族同然です。成長とともに体力も学力も格段についてきて、車いすも自走できるようになりました。将来の夢は看護師になることで、夢に向かって勉強を頑張っています。学期休みにチャチュンサオ県の実家に帰省するための交通費を支援します。

フォン(19)　カノックワン・スンタラノン　専門学校 1 年生

生年月日：2001/11/6
学校：チョンブリー県パタヤ・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

フォンさんはチャンタブリー県出身で、2019 年に WAFCA の奨学金で中学校を卒業後、パタヤの専門学校に入学を希望し合格しましたが、障がいの重いフォンさんの生活介助者が見つからず、入学を延期していました。その間、ノンフォーマル教育学校（通信）の高校課程を勉強し、今年、念願の専門学校に入学することができました。学期休みにチャンタブリー県の実家に帰省するための交通費を支援します。

ユーン(21)　ブンユーン・ナムポンクラン　専門学校１年生

生年月日：2000/6/19
学校：チョンブリー県パタヤ・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

ユーンさんはアユタヤ―県出身です。小学校を卒業後、進学できず自宅に留まっていましたが、WAFCAT から車いすを提供したことをきっかけにノンフォーマル教育（通信）に登録し、2 年間で中学校課程を修了しました。今年、パタヤにある職業教育専門学校へ入学し、卒業後の就職を目指しています。寮生活となるので、学期休みに自宅へ戻る交通費を奨学金として支援します。

マート(16)　ポーンシリ・パイジット　専門学校１年生

生年月日：2004/9/8
学校：チョンブリー県パタヤ・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：おむつ代/キャンプ参加予定（¥14,000）

マートさんはラヨーン県の出身で、マハタイ障がい者財団の教育プログラムでトップレベルの私立中学を卒業しました。高校・大学進学という選択肢もありましたが、早く就職して自立したいという強い気持ちから専門学校へ入学しました。一般科目と職業訓練を受け、専門スキルを身につけて良い仕事に就きたいと考えています。障がいのため尿意を感じることができず、おむつ代が生活費の負担となっているため、奨学金から支援する予定です。

ポムパム(9)　ペッラダー・カンブーン　小学２年生

生年月日：2014/3/4
学校：チョンブリー県特別支援学校（チャリヤオ・パワナー記念学校）
支援内容：交通費/制服代/キャンプ参加予定（¥7,500）

ポムパムさんはプラチンブリ―県の出身で、脳性まひのため筋力が弱く、車いすを使って生活しています。昨年、家族から離れて特別支援学校に入学し、慣れない寮生活は大変でしたが、持ち前の明るい性格でクラスメートや先生とすっかり打ち解け、勉強を頑張っています。家族は自営業ですが、コロナの影響で収入が激減し、ポムパムさんに新しいシャツや靴下を買うことができません。衣類の購入費と帰省のための交通費を奨学金として支援します。

ゴット(12)　クリッサナポーン・トーンサムリー　小学６年生

生年月日：2009/6/22
学校：チョンブリー県特別支援学校（チャリヤオ・パワナー記念学校）
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

ゴット君はチャンタブリー県出身で、小学 1 年生から家族と離れて特別支援学校の寮で生活しています。スポーツが得意という活発な性格で、校内のスポーツ大会ではどんな競技でも大活躍です。算数の勉強が好きで、将来は算数の先生になりたいと思っています。昨年、一時体調を崩して自宅に戻っていましたが、無事に復帰して６年生に進級することができました。学期休みにチャンタブリー県の実家に帰省するための交通費を支援します。

ファーサイ(9)　ナティダー・パンウォン　小学５年生

生年月日：2012/1/29
学校：チョンブリー県特別支援学校（チャリヤオ・パワナー記念学校）
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

ファーサイさんはラチャブリー県の出身で、小学１年生から家族と離れて特別支援学校の寮で生活しています。計算が得意で、将来の夢はコンピュータ・プログラマーになることです。両親は長距離トラックの運転手をしていて、忙しいため、定期的に自宅に戻ることはできませんが、親代わりとなって面倒を見ている先生が両親と連絡を取り合って帰省の計画を立てています。学期休みに実家に帰省するための交通費を支援します。

ガーフィールド(14)　タナティップ・ティエントーン　中学１年生

生年月日：2007/3/13
学校：チョンブリー特別支援学校（チャリヤオ・パワナー記念学校）
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

ガーフィールド君はチャンタブリー県出身です。生まれつき障がいがあり、車いすで生活していますが、車いすスポーツ全般が得意で活発な男の子です。好きな教科は理科と美術で、昨年、奨学金から支援した学習用タブレットを大いに活用して勉強を頑張り、中等部に進学しました。将来の夢は床屋かデパートの店員として働くことです。学期休みに実家に帰省するための交通費を支援します。

チッド(19)　スティン・ケソーン　専門学校５年生

生年月日：2001/8/6
学校：チョンブリー県パタヤ・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：交通費（休暇帰省のため）/キャンプ参加予定（¥14,000）

チッド君はノンブアランプー県出身で、小学 1 年生から中学 3 年生まで WAFCA の奨学金で通学しました。卒業後、高校には進学せず、奨学金の申請がなかったため、支援を打ち切りましたが、実際にはノンフォーマル教育学校（通信）で高校課程を修了し、今年、WAFCA の奨学生も多く通うパタヤの専門学校に入学しました。そこで WAFCAT のスタッフがチッド君に再会し、再び奨学生として支えることになりました。帰省のための交通費を奨学金として支援します。

トンクラー(16)　タナコーン・ロープコープ　中学３年生

生年月日：2005/3/14
学校：チョンブリー県タンタララック学校
支援内容：キャンプ参加予定

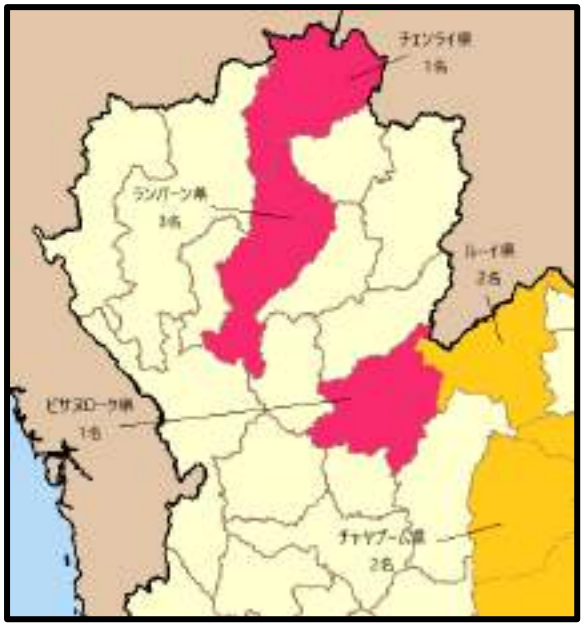
トンクラー君はチャンタブリー県出身で、WAFCA の奨学金で小学校を卒業後、WAFCAT の推薦でマハタイ障がい者財団の特別教育プログラムの対象に選ばれ、タイでもトップクラスの私立中学校で学び、マハタイ財団の障がい者専用の寮で生活しています。寮から学校までは車で 5 分で、財団のスタッフが送り迎えしてくれます。同プロジェクトはトンクラー君の大学卒業まで支援を続ける計画です。WAFCA もマハタイ財団と協力しながらトンクラー君の成長を見守っていきます。

ナムワン(19)　サランジット・コフアデーン　専門学校２年生

生年月日：2002/5/3
学校：チョンブリー県パタヤ・レデンプトリスト高等専門学校
支援内容：おむつ代/キャンプ参加予定（¥14,000）

東北部スリン県出身のナムワンさんは、専門学校でビジネスコンピュータを勉強しています。出稼ぎでプーケット県にいたお母さんとお姉さんがチョンブリー県の隣のラヨーン県で仕事を見つけたため、すぐに会えるようになりました。下肢麻痺で尿意を感じないため、生活費の負担になっているおむつ代を支援する予定です。

北部



その美しさから「北方の薔薇」と称される古都チェンマイを中心とした北部は、タイ最高峰インタノン山をはじめとした峰々が重なる緑豊かな山岳地帯。かつてこの地を支配したランナー王国の影響で、「ランナースタイル」と呼ばれる独自の文化がいまも色濃く残るほか、ミャンマーやラオスと国境を接し、また山岳民族が多く暮らすなど多彩な文化が特徴的な地域です。タイ族初の王朝が築かれたスコータイもこの北部の南端にあります。

©タイ国政府観光庁日本事務所

ピム(17)

ピンパー・チュアウォンカム　中学２年生

生年月日：2004/3/15
学校：ランパーン県トンティップ・ウィッタヤー学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥11,200）

ピムさんは身体の障がいが理由で同級生より 5 年遅れて小学校に入学しました。それでも地道に勉強を頑張り、毎年進級し、昨年小学校に併設された中学校に進学。今年も順調に中学 2 年生に進級しました。年齢の差はあっても小学生の頃から仲の良いクラスメートがサポートしてくれて楽しく勉強を継続しています。通学のためのスクールバス代を奨学金として支援します。

プン(14)

ワチャラウィー・クンティー　中学２年生

生年月日：2007/6/6
学校：ランパーン県セームクワーウィッタヤー学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥11,200）

プン君は下肢に障がいがありますが歩行器を使ってゆっくり歩くことができます。今はなるべく車いすを使わず歩行訓練をしています。プン君は 9 歳の時に WAFCA の支援で小学校 3 年生に入学しました。そして、昨年、中学校に進学することができました。中学校は自宅から 7 キロ離れているので、お母さんがバイクで送り迎えしています。バイクのガソリン代を奨学金として支援します。

ベル(11)

サラウット・マックムーン　小学６年生

生年月日：2010/5/21
学校：ランパーン県バーン・タークイエン学校
支援内容：通学交通費／車いす/キャンプ参加予定（¥24,150）

ベル君は生まれつき障がいがあり、車いすで生活しています。お姉さんも同じ障がいがあり、出稼ぎでバンコクにいるお母さんと一緒に暮らしています。お祖父さんとお祖母さんがベル君の面倒を見ています。生活が苦しい一家を小学校の校長先生や特別支援学級の先生が親身にサポートしています。毎日送り迎えしてくれる特支学級の先生のバイクのガソリン代を奨学金として支援します。また、昨年新しい車いすに交換する計画でしたが、コロナ禍で届けることができず、2021 年度に延期しました。

ミント(17)

シリポーン・ムーヘン　中学２年生

生年月日：2004/2/13
学校：ピサヌローク県ワットヤーン（ミーマナ・ウィッタヤー）学校
支援内容：オートバイのサイドカー設置費/キャンプ参加予定（¥24,500）

ミントさんは両麻痺で車いすを使って生活しています。両親、お祖父さん、お祖母さんと暮らしています。歌うことがとても得意で、テレビの歌唱コンテストに出場した経験もあります。両親がミントさんをバイクの後部座席に乗せて学校へ送り迎えしていましたが、体重が増えて抱きかかえることがむずかしくなりました。そのため、バイクから滑り落ちる心配もあります。そこで、バイクのサイドカーを取り付け車いすごと移動できるよう奨学金から設置工事費を支援します。

フィルム(15)

ポッジャニン・パンセーン　中学３年生

生年月日：2005/11/17
学校：チェンライ県ウィエンカーロン・ウィッタヤー学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥11,200）

フィルム君はお祖父さん、お祖母さん、叔母さんと 4 人で暮らしています。両親は離婚し、離れて住んでいて仕送りもありません。そのため家族 4 人、障がい者手当てと高齢者手当てで生活しています。生活は大変ですが、勉強熱心なフィルム君は通常の中学校で勉強を続けています。来年卒業予定ですが、中学卒業後の進路が決まっておらず、WAFCAT からの進路支援が必要です。今年度は通学のための交通費を奨学金として支援します。

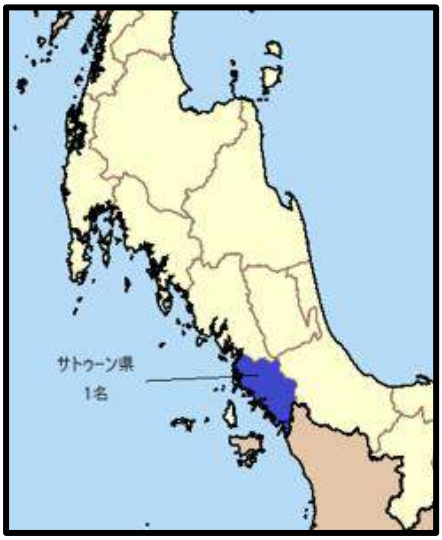
ニム(11)

シリコーン・バンルアン　小学６年生

生年月日：2009/11/19
学校：ナコーンサワン県ワットナークラン学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥11,200）

ニムさんは、幼い頃にバイク事故で脊椎を損傷し、歩行器を使って生活しています。長距離を移動するときだけ車いすを使います。また、腎臓疾患も抱えていて、定期的にバンコクの病院に通って治療を続けています。WAFCAT の自走タイプの車いすに乗り換えてからは移動が楽になり行動範囲も広がりました。事故の後遺症や病気と闘いながらも通学を続け、学校の成績も上位です。通学のための交通費を奨学金として支援します。

南部



マレー半島の基部から細長く延びてマレーシアと国境を接する南部は、西はアンダマン海、東はタイ湾に面し、プーケットやサムイ島など世界的にも有名な美しいビーチリゾートが点在する地域です。

またそれらの背後に広がる内陸部には、熱帯のジャングルに覆われた豊かな自然環境が広がり、さまざまなアクティビティも楽しむことができます。中国からの移民やマレー人、タイ人などがともに暮らしてきた歴史から育まれた独自の文化性も特徴的です。

©タイ国政府観光庁日本事務所

アシーン(10)

ティラパット・ルンミン　小学５年生

生年月日：2011/1/17
学校：サトゥーン県バーン・ダーラム学校
支援内容：通学交通費/キャンプ参加予定（¥11,200）

アシーンくんは、脚が変形していて足首の曲げ伸ばしができず、うまく歩くことができません。2020 年に手こぎ三輪車を寄贈しました。それによって、学校内の移動や放課後や週末に遊びに行くときの移動が便利になりました。今はお祖母さんが運転するバイクに乗って通学しています。勉強は得意で、とくにタイ語の朗読が上手です。県内の朗読コンテストで入賞したこともあります。WAFCA がタイ南部に住む奨学生を支援するのはアシーン君が初めてです。